

No. 123

# 泉南走ろう会

連絡先 泉南スポーツ社  
0724(83)4653

ランナーのマナーについて

会長 遠健三

この頃のランナーのマナーの悪さについては、目に余るものがあります。

もうこんな大会参加せんとこと、思うことが多い。只、走れば良いというものではないと思ふのだが。マナーの悪さ、例にとれば、切角主催者が、大公の趣旨、大会のルール、注意、また参加者親迎のあいさつ等のべてくどくどいいますが、開会式に出ない、あまつさえ大会挨拶しているその台のぐるりを走り、ウォーターサーバーとかを回っている。主催者がマイクまたは声をからして開会式参加を呼びかけて下さっています。全然気にしない。大会参加者の数よりも主催者のきちと整列して開会式に出席して下さっている人数の方が多い。切角のイベント楽団演奏や、地元の太鼓等、に耳をかかず、終つても拍手するものがない。困ったことだ。

ゴミ燃えるもの、空きカン、区別してゴミ箱に入れる様しているが、そのゴミすくうゴミ箱に入れ

い。大体、大会に参加してゴミのポイ捨て、もつての外だと思ふ。後片付けは誰がするの。た、篠山マラソンでは、これは何処の大会でもそうだと思うが、街で空地が少しでもあれば立ションをする。これは街の人が怒るのが無理がない。以前はあまりこんなことがなかった。セめて野原まで行つた。この頃は、街の中の空地で平気の平だらだ。それも多勢、もうこんなマナーの悪い大会に参加しようまいと思ふ。

これは何時かの皆生のトライアスロンの大会であったことだが、ランナーが街の人に「どけー」と大きな声を出して、どなったそう。主催者が、大会開催のやる気があることも、地元住民が大会に対する理解がなければ、開催が出来ない。それと皆生の大会開催が危ぶまれて、いとこの声を、私は聞きよした。もともだと思ふ。自分を何様だと思つてい

るのだ。「走つてやっている」「ランナーはお客様だ」「神様だ」と思っているのでしよう。「安全に楽しく走らう」として走らうと願っている。感謝の気持ちがないコースが悪い。坂道が多い等、文句だらう。それならば、始めから参加せんといた方がいい。主催者がちゃんと参加要項にマップダウンが多いコースと明示してある。まだ外にもある。参加賞が悪い等々、文句ばかり。この頃のランナーはどうなつて

いるのだ。  
幸いにして我が走ろう



会の会員の方にはその様な人がいない。私は幸せに思ふ。私は何時も大会に参加するとき、役員の方に「お世話になります」「大会が終ると」「お世話になりました」「有難うございました」と声をかけるようにしている。

昨日も丁しの大会に「これ何」「スタジ」「おいしやうだね」「早く走つてきて、スタジ頂こう」「スタジ頂くとおいしかつた街馳走様」といて客器を返す。一言、感謝の気持ちをもつ。治道の応援の方には有難うと声をかけて走る。あ、走つて良かった。完走出来た。この喜び何んと楽しいこと。ランニングが継続の力となる。





